

第4回 立高未来塾

『火星で農産物は生産できるのか？』

～大規模プロジェクトをチームで実現～

日 程	2019年1月12日(土)	13:10-14:05 講 演
会 場	立高 多目的ホール	14:05-15:20 グループ演習
対 象	立高在校生(全学年)	15:20-16:20 発 表
		16:20-16:50 講評と解説

参加申込 担任へ（募集人数40名程度）

講 師 梶田 大輔 先輩
(高40期)

国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構(JAXA)
有人宇宙技術部門
宇宙飛行士・運用管制ユニット勤務



小学生の時に観たガンダムの影響を強く受け宇宙飛行士を夢見るが、大学卒業後はロケット等を製造するメーカーに就職し、H-IIロケット、M-Vロケット、月面観測機の設計開発に携わる。そこで、後に”はやぶさ”と名付けられる小惑星探査機 MUSES-C の開発チームに加わり、回収したサンプルを無事に地上に下ろすための再突入カプセルの設計開発を担当する。

その後、国際宇宙ステーションの運用を請け負う会社に転職し、宇宙ステーション実験の管制官となり宇宙ステーション用実験装置の開発や宇宙実験の運用に携わる。現在は宇宙航空研究開発機構(JAXA)で、火星有人探査に向けた、宇宙飛行士の健康管理、宇宙放射線の計測・防護技術開発を担当している。

～立高未来塾とは～

各界の一線で活躍する「本物」のリーダーである立高卒業生を講師として招く、大学のゼミや企業研修でも行なう形式の課外特別授業。プロフェッショナルから「深く学べる」、君たち自らの将来を考える上でも、貴重な機会となります。